



5

商 工

- 5-1 別府市竹細工伝統産業会館
- 5-2 別府市労働者福祉センター
- 5-3 別府市勤労者研修センター
- 5-4 別府市勤労者体育センター
- 5-5 別府市公設地方卸売市場
- 5-6 別府競輪場
- 5-7 別府市シルバー人材センター

5. 商 工

5-1 別府市竹細工伝統産業会館

所在地	大字鶴見3785番地の1
構造	鉄骨造
延床面積	1,268.04㎡
建築年	平成6年
構成施設	研修室・展示室・資料室等
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部商工課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



竹細工伝統産業会館は、竹細工に関する情報発信や資料、作品の保存展示、後継者の育成を担う拠点施設として、伝統工芸品に指定された竹細工の技術向上、竹産業の振興に寄与することを目的に平成6年に設置されています。

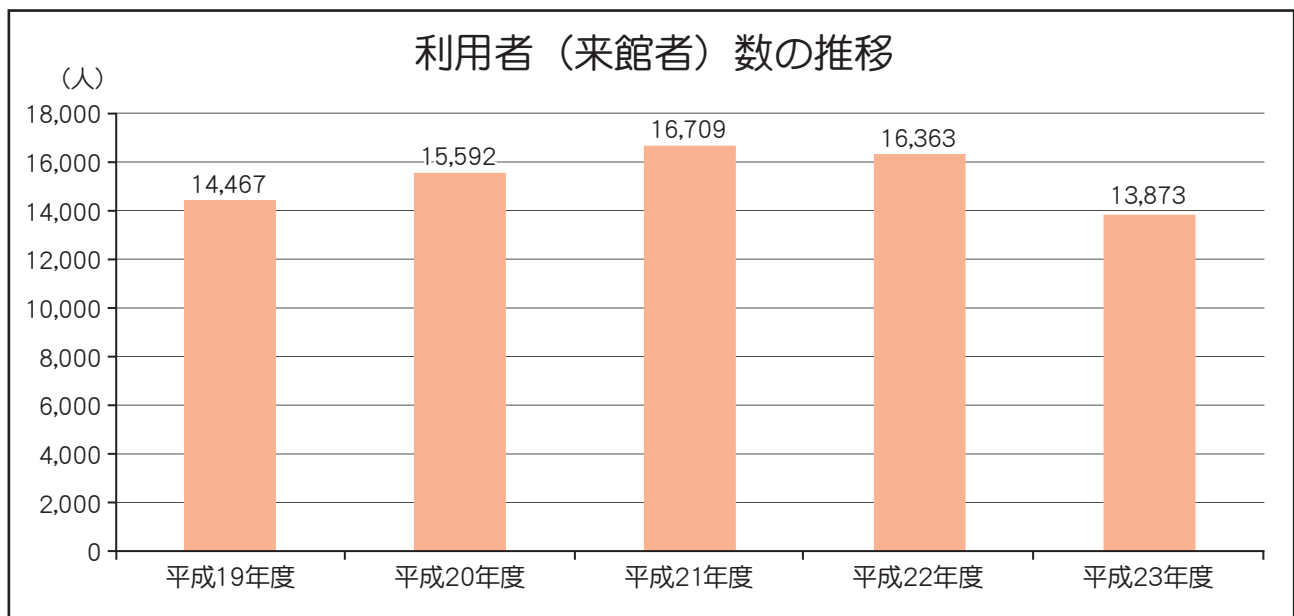
施設の状況としては、建物本体に大きな不具合は見られませんが、付帯設備の劣化等が目立つようになってきています。照明設備の一部や身障者用リフトなど、すでに製造中止となっているものもあるため、今後の対策について検討が必要となっています。

来館者は観光客が中心ですが、小中学生の社会見学としても利用されています。

伝統技術の継承や竹への親しみを深めることを目的に開催している「竹の教室」は人気を博しており、多くの参加があります。

常設展示、各種イベント・展示会を催すなどして、平成23年度は13,873人が来館しています。

収 入	
使用料等	3,247 千円
施設にかかる経費	
人件費	9,536 千円 正職員(0.3人) 非常勤職員(4.0人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	1,885 千円
修繕料	251 千円
役務費	209 千円
委託料	2,313 千円
指定管理料	—
工事請負費	300 千円
その他の支出	2,471 千円
合 計	16,965 千円
減価償却費	3,081 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：308日】

5. 商 工

5-2 別府市労働者福祉センター

所在地	大字別府字野口原3030番地 1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,562.33㎡
建築年	昭和60年
構成施設	体育室・事務室・会議室・浴室・トレーニング室
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部商工課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



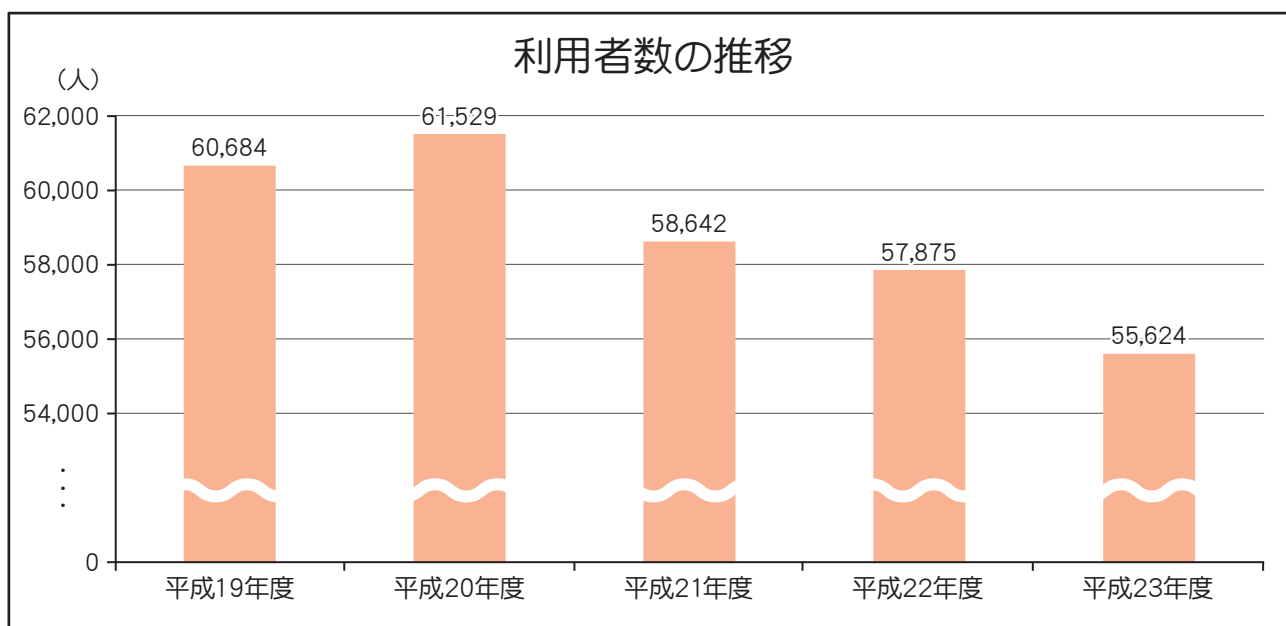
※H25年度から、施設所管課企画部自治振興課にて“別府市男女共同 参画センター「あすべっぴ」”として使用しています。

労働者福祉センターは、県から「大分中高年齢労働者福祉センター」を買い受けたもので、労働者の福祉の増進を図ることを目的として平成16年に設置されています。建築後25年を経ていることから施設全体に不具合が生じており、修繕や工事にて対応することが多くなっています。

また、経年劣化により正面玄関などに不具合が生じていることから、早めの対策が必要となっています。

利用状況としては、平成20年度以降は減少傾向となっており、平成23年度は55,624人の利用となっています。構成施設別の利用割合でみると、体育室が22,041人で約40%、トレーニング室が16,132人で約29%、その他会議室や研究室などが約31%となっており、健康増進及び体力づくりのための利用が約70%を占めています。

収 入	
使用料等	7,636 千円
施設にかかる経費	
人件費	10,533 千円 正職員 (0.2人) 非常勤職員 (6.0人)
光熱水費	2,684 千円
修繕料	708 千円
役員費	182 千円
委託料	2,713 千円
指定管理料	—
工事請負費	384 千円
その他の支出	1,297 千円
合計	18,501 千円
減価償却費	4,640 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：306日】

5. 商 工

5-3 別府市勤労者研修センター

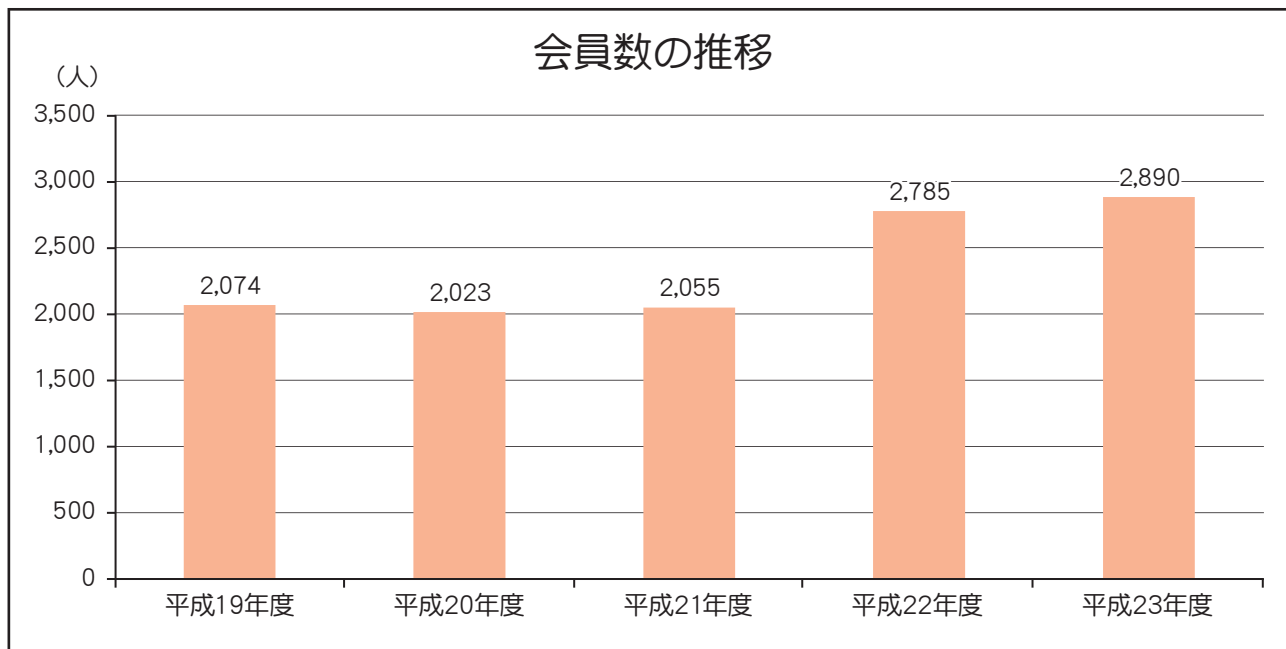
所在地	石垣西五丁目4番55号
構造	木造
延床面積	157.07㎡
建築年	昭和50年
構成施設	会議室
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部商工課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



勤労者研修センターは、勤労者等の福利厚生増進にかかわる研修、集会等に供することを目的として昭和50年に設置されています。施設の現状としては、経年劣化による雨漏りを改善するために平成21年度に外壁全面塗装工事をし、平成23年度には老朽化した2階部分のサッシ等の補修工事を行っています。一般的に施設の老朽化が見られるので、常時補修が必要となっています。

利用状況としては、主眼を勤労者等の福利厚生のための研修等の場から福利厚生サービスを提供することに変え、「(財)大分県東部勤労者福祉サービスセンター」による中小企業者向けの福利厚生サービスの提供をしています。平成23年3月末現在の加入事業者数は756社、加入会員数2,890人となっています。

収 入	
使用料等	1千円
施設にかかる経費	
人件費	1,173千円 正職員(0.2人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	89千円
指定管理料	—
工事請負費	271千円
その他の支出	0千円
合 計	1,533千円
減価償却費	0千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：243日】

5. 商 工

5-4 別府市勤労者体育センター

所在地	上野口町19番21号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,253.23㎡
建築年	昭和56年
構成施設	体育室・事務室
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部商工課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

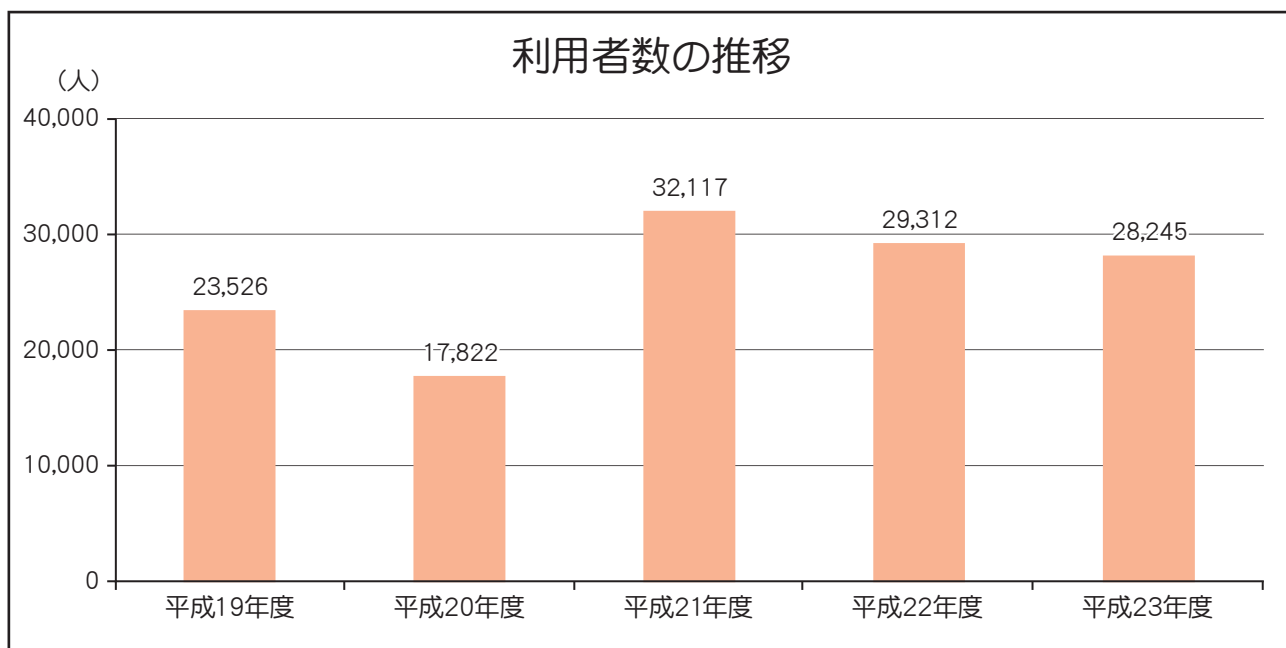


勤労者体育センターは、スポーツ活動等を通じ、体育の振興を図り、もって勤労者の福祉の増進と雇用の安定に資することを目的として、昭和56年に設置されています。施設の現状としては、平成20年度に2階トレーニング室を小体育室に改修しています。また、平成22年度に敷地内の地盤変化に対する地質調査を行ったところ排水路が機能していないことが判明したため、平成23年度に改修工事を行っています。建築後約30年を経ていることから、施設の外壁や照明器具、遮光カーテン等の付属設備等に経年劣化が進んでいます。

利用状況としては、平成20年度まで利用者は減少傾向でしたが、トレーニング室を小体育室に改修したため平成21年度は32,117人の利用と増加しています。平成22年度以降は多少の減小はありますが、約29,000人で推移しています。

当初は、スポーツ活動を通じて勤労者の福祉の増進と雇用の安定を図るために設置されましたが、現状では一般利用者が全体の9割近くを占めており通常の体育施設となっています。

収 入	
使用料等	2,741 千円
施設にかかる経費	
人件費	8,973 千円 正職員 (0.2人) 非常勤職員 (5.0人)
光熱水費	1,309 千円
修繕料	174 千円
役員費	48 千円
委託料	812 千円
指定管理料	—
工事請負費	2,642 千円
その他の支出	288 千円
合 計	14,246 千円
減価償却費	4,963 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：297日】

5. 商 工

5-5 別府市公設地方卸売市場

所在地	古市町881番地81
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	10,212.00㎡
建築年	昭和57年
構成施設	事務室・会議室・せり場・売店・倉庫等
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部商工課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

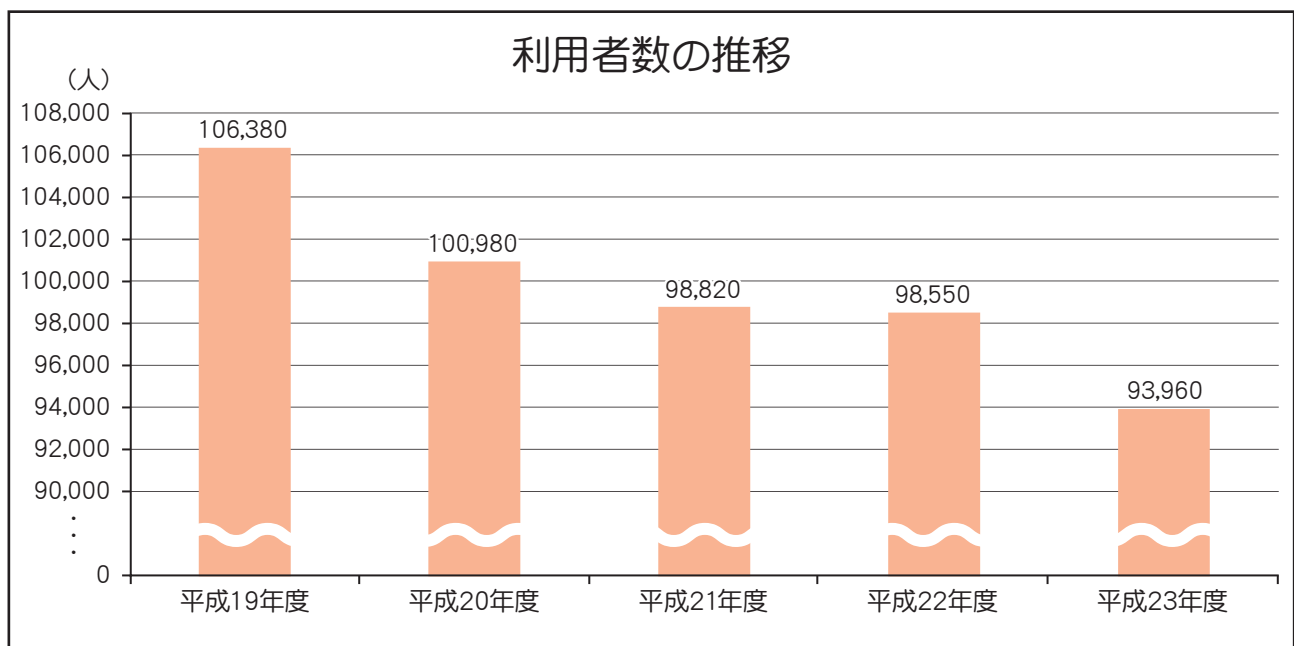


公設地方卸売市場は、生鮮食料品等の取引の適正化及び流通の円滑化を図り、もって地域住民の生活の安定に役立つことを目的として昭和57年に設置されています。施設の状況としては、老朽化による風防テントの損傷や関連店舗等の雨漏り、道路の陥没等により常時修繕工事を行うなどの対応をしています。

利用状況としては、公設地方卸売市場は一般開放していないことにより、利用者は青果部、水産部、花き部のそれぞれの部門に登録している買受人になります。

開設当時は、600人（青果部310人、水産部161人、花き部129人）いた買受人は平成23年度末では348人（青果部145人、水産部81人、花き部122人）となっており、青果部、水産部の計で見ると合わせて245人の減と半分以下まで減少しています。

収 入	
使用料等	31,922 千円
施設にかかる経費	
人件費	9,712 千円 正職員(1.0人) 非常勤職員(1.0人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	9,431 千円
修繕料	792 千円
役員費	282 千円
委託料	9,695 千円
指定管理料	—
工事請負費	7,549 千円
その他の支出	513 千円
合計	37,974 千円
減価償却費	38,256 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：282日】

5. 商 工

5-6 別府競輪場

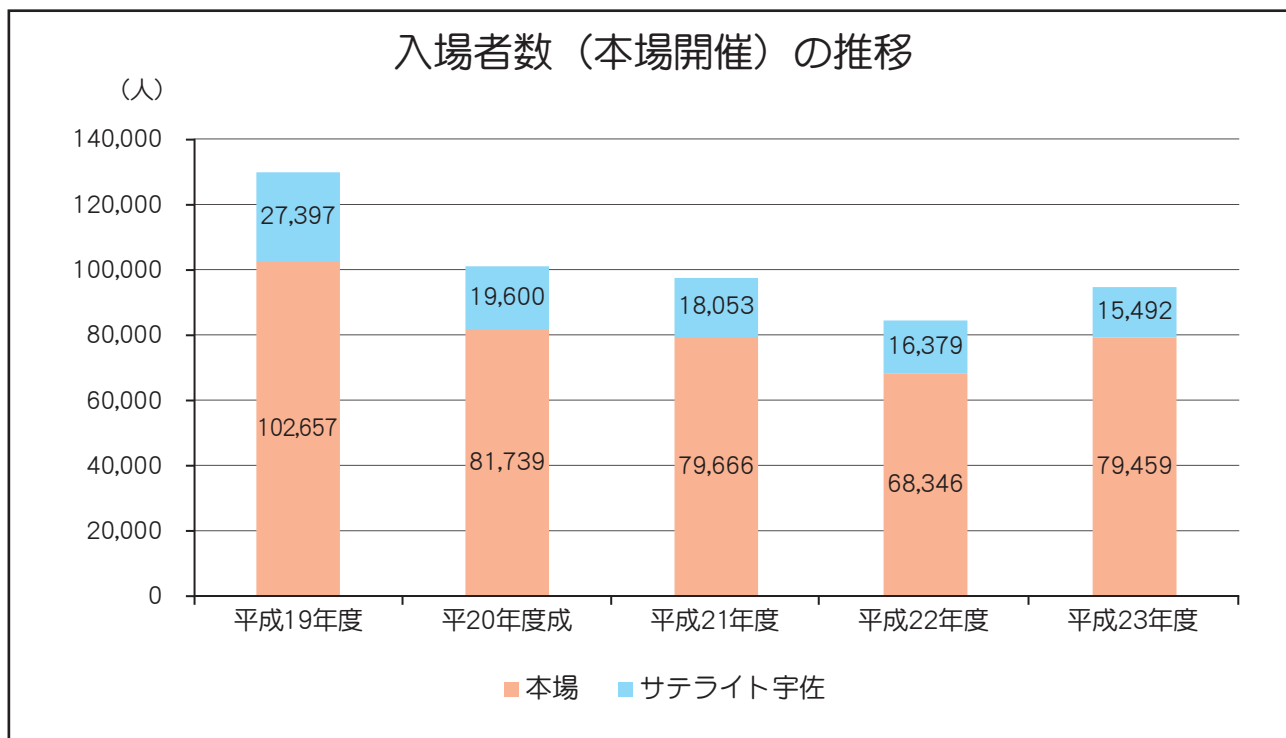
所在地	亀川東町1番36号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	15,220.94㎡
建築年	平成17年
構成施設	スタンド・宿舍・管理棟・ふれあい会館・市民広場等
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部競輪事業課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



別府競輪場は、自転車競技法(昭和23年法律第209号)第1条第1項の規定に基づいて、昭和25年5月に開設されています。施設の状況としては、平成17年から平成18年にかけてメインスタンド・サブスタンドの大規模改修を行っています。また、選手控室・管理棟は建築から40年以上経過しており設備等に不具合が生じていますが、選手宿舍については改築を行っています。

利用状況としては、本場開催時の入場者数は年々減少していましたが、平成23年度では増加の兆しがみられ94,951人の入場者数となっています。ただし、サテライト宇佐の入場者数は減少傾向が続いており、平成19年度より約44%減少しています。

収 入	
使用料等	12,844,743 千円
施設にかかる経費	
人件費	42,829 千円 正職員(7.3人)
光熱水費	62,631 千円
修繕料	3,453 千円
役務費	71,526 千円
委託料	881,234 千円
指定管理料	—
工事請負費	202,913 千円
その他の支出	10,308,816 千円
合 計	11,573,402 千円
減価償却費	60,168 千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：308日（場外発売含みます）】

5. 商 工

5-7 別府市シルバー人材センター

所在地	新港町85番地
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	567.93㎡
建築年	昭和40年
構成施設	事務所・ワークプラザ
管理形態	—
施設所管課	企画部政策推進課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



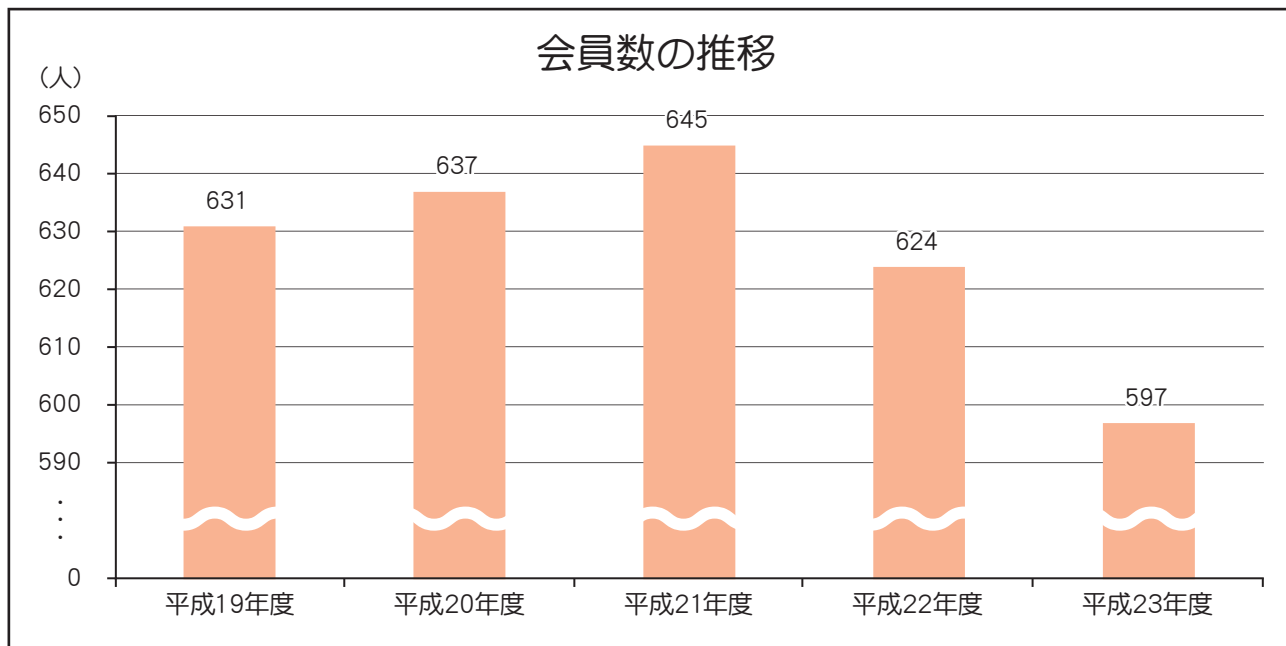
※延床面積については、ワークプラザ132.04㎡（施設所管課：ONSENツーリズム部商工課）を含んでいます。

シルバー人材センターは、市の基金財産等を借り受けた「公益社団法人別府市シルバー人材センター」（平成24年度に公益社団法人に移行）により運営されています。

高齢者を対象に働く場を提供し、知識・経験および技能を生かすとともに「生きがいの充実」、「健康維持」、「働く喜び」、「社会参加」、「福祉の増進」など、地域に密着した活動を行い、地域社会に貢献しています。

作業内容は、大工仕事、植木手入れ、毛筆筆耕、除草・草刈りなど多岐にわたっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	0千円
合 計	587千円
減価償却費	1,886千円(参考値)



5. 商工

耐震診断の実施状況

5. 商工

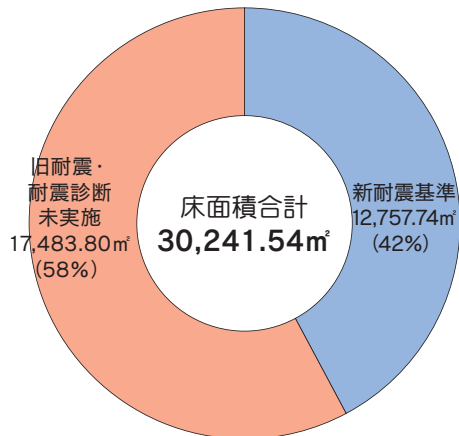
	施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準						
					耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施		
			棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	
①	別府市竹細工伝統産業会館 (注1)	H6	1	1,268.04							
②	別府市労働者福祉センター	S60	1	1,562.33							
③	別府市勤労者研修センター	S50							1	157.07	
④	別府市勤労者体育センター	S56							1	1,253.23	
⑤	別府市公設地方卸売市場	S57							8	10,212.00	
⑥	別府競輪場 (注2)	H17	7	9,795.33					4	5,425.61	
⑦	別府市シルバー人材センター(注3)	S40	1	132.04					1	435.89	
			10	12,757.74	0	0.00	0	0.00	15	17,483.80	

(注1) 研究棟 (293.80㎡) を含みます。

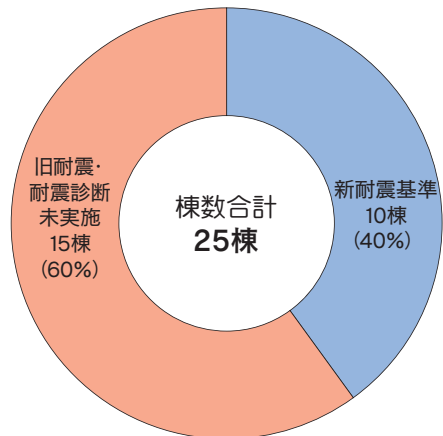
(注2) 別府競輪場ふれあい会館 (129.96㎡)、別府競輪市民広場 (393.80㎡) を含みます。

(注3) ワークプラザ (132.04㎡) を含みます。

床面積に対する割合



棟数に対する割合



施設配置図 5. 商工

